

## 教育目標 「自ら きたえる」

意欲をもって学び続ける力・自分を豊かに表現する力・良好な人間関係を築く力



新潟市立関屋小学校 学校だより

# しおなひ

令和八年三月三日

第377号

2月16日（月）～27日（金）6年生ありがとう旬間

## 向上を続ける伝統

校長 川又 健司

令和七年度も、いよいよ三月。大詰めを迎えようとしています。

世の中はこの二月、冬季オリンピックに湧きました。各競技で選手が活躍し、たくさん感動を与えてくれました。日本も過去最高のメダル獲得数。「〇〇競技初」という言葉が、踊りました。その中には十代から二十代前半の選手も数多くいて、次代を担う若者たちの勇姿を心強く思った方も多かったことと思います（私もそうでした）。

そのオリンピックの賑わいと並行して、学校では二月、六年生への感謝の取組が続きました。五年生が中心となって企画・運営したありがたい旬間中は、様々な飾り付けや六年生と各学年との遊びイベントなどが、連日実施されました。そして、ファイナレは二十六日のありがとう集会。とても素敵な会になりました。

毎年このこととは言え、その一つ一つに新たな工夫も見られ、新鮮な感動を与えてくれます。頑張った五年生に、拍手を送りたいと思います。

私は、二月を飾ったオリンピックとありがとう集会（&旬間の取組）に、共通するものを感じました。それは、「向上を続ける伝統」です。

スポーツ界では、様々な先駆者に

憧れ、それに近づき、追いつき追い越せと努力した人たちが、また新たな記録を生み出していきます。そして、その人がまた、次の世代の人たちの目標となっていくます。

スポーツ界と書きましたが、先達を目標とすることで、新しい発展・進化を遂げていくのは、スポーツ界に限りません。どんな分野でも、結局人類の全ての発展・進化が、そのような営みによって生まれているように思います。

学校もまた同じです。目標となる先輩がいて、後輩がそれに追いつき追い越せと努力する。それが伝統となっている学校は、常に向上し続けます。私は、関屋小学校にも、そのよき伝統が息づいていると思っていますし、その伝統を途切れさせてはいけないと思っています。

六年生に感謝の二月が終わり、卒業式まではあと十数日。最後の卒業式まで、六年生は下級生の目標となる姿を示し続けてくれることでしょう。そして、五年生以下の下級生は、その姿を見ながら、四月からの新学期に向けて心を引き締めていってくださることでしよう。

関屋小学校の「向上を続ける伝統」は、今後も引き継がれていきます。

## 感動をありがとう「六年生ありがとう集会」2月26日（木）



実行委員長 5年2組 M・M  
 実行委員長になって大切だと感じたことは、視野を広げ、客観的に全体を見ることです。私は、リーダーの経験がなく、この役をこなすことは大変でした。でも5年生のみんなが頼ってくれて自信ができました。本番のスピーチで6年生の全員が私を見てうなずいてくれたので、さらに自信をもつことができました。



## ～4年校外学習アグリパーク2月3日（火）～

4年 W・M

アグリパークでは、いちご狩りやいちご大福づくりをしました。ハウスでいちごをえらぶ時に、ほしいいちごが友達とかぶってしまった人がいたけど、話し合っどっちがもらうか解決しようとしていて、クラスの友情がレベルアップしているなと思いました。大福づくりで、エプロンをつける時に後ろのひもが難しくて、友達に結んでもらいました。ぼくはこれも友情だと思いました。



### 【3月の予定】

- 2日 全校朝会、委員会
- 3日 6年同窓会入会式
- 4日 蔵書点検（～10日まで）
- 13日 卒業式全体練習
- 16日 給食最終日
- 17日 3時間授業（～19日）
- 23日 終業式
- 24日 卒業式
- 25日 春休み（～4月6日）
- 26日 離任式